

UVSOR 懇談会議事録 2023/12/2 10:50~11:50

OCC コンファレンスセンター+オンライン

参加者：対面 50 名程度、オンライン 15 名程度

協議事項：なし

報告・懸案事項：

(1) 昨年度議事録を振り返って

- リモート測定について：3B では開発を引き続き進めている(まだテスト段階)
- PHS 更新に関して、まだ本格的検討は進めていない
充電器にきちんと戻すことは利用者が徹底するしかない

(2) ユーザー、会員からの提案・質問

◎ビームタイム、実験時に関して：

- お弁当を頼みやすくする
- ロッジへ行く道が暗い→施設課に相談してほしい
- ポケット線量計の電池が切れていることが多い
- ネット接続の設定が毎日必要。改善してほしい。
- 宿舎の支払い。雨の中行くのは大変。UVSOR でできるようにしてほしい。あるいは屋根をつけてほしい。
- ユーザーズマニュアルを作る。スタッフが言ったことをユーザーが文字に起こし、スタッフが手直し、翻訳して公開する。
- リモートへの対応をお願いしたい、操作ができなくてもチェックできるように
→各ビームラインで
- 自動測定の間、スポーツなどのレクリエーションがあると良い→ストレス解放、活気を生み出したり、学生同士の交流につながる。さらに立場を超えたコミュニケーションを取れる。
- 入射の終了時間の目安(9時半なのか、9:45 なのか)を予めアナウンスしてくれるとうれしい。

○ビームカレント 300mA をぜひ復活させてほしい

施設側回答：300mA 出せない原因は不明。現状 2025 年 4 月以降までは 300mA は厳しい。またユーザーによっては 200mA が良いという意見もあり

○ビームの安定性

1 ビームカレントはもちろん必要だが、安定性も必要→年々悪くなっている気がする。(他のビームラインのアンジュレーターギャップの変更で影響が出ている気がする)

2 たまにリング室に行くと入射効率が落ちており、それで安定性が悪いのではないか
→施設内部にいると気がつかないこともある。外部ユーザーなどの意見を聞くのがよい
施設側回答：具体的なデータがあれば積極的に施設に提供してほしい、将来計画と別に
老朽化に関して対策が必要と訴えていく

◎将来計画に関して：生物関連

- 生物に寄り過ぎるのはいかがなものか？
- まずは生物分野にできることを提案して、できればやってもらおう。(できないことは無理にやろうとはしない文化がある)
- 生物関係とは少しギャップがあるが、逆に新たなチャンスがあるので戦略としてはよい。

施設側回答：高輝度ではないというところが実は生物とは相性がよいので、UVSOR ならでの研究展開が可能(生理研などと同じ敷地にあるところも試料準備という意味でアドバンテージになると思う)

- 上記に関連して、異分野の人との意見交換の場をより多く設けるのがよい(需要と供給で利害が一致する可能性があるのではないか?)
- もっと外に向かってのアピール、宣伝を増やす
UVSOR の HP、特に BL 情報を充実させる(SPring-8 の BL 情報を参考に。素人でも分かるように。40 周年記念行事冊子が非常に分かりやすい構成になっている)

◎ユーザーの学生同士の横のつながりがほしい、UVSOR に常駐している学生が少ない

- UVSOR 若手の会がほしい

施設側回答：若手スタッフが少なく、受託学生、総研大の学生が以前より減ったので若手の会の運営が難しいことが予想される。それでも結成が必要であれば、下記のような提案や懸念点が考えられる。

1 測定解析方法のノウハウの共有、意見交換の場を設けることから始める。

教員同士の利害関係がよくわからないので、教員の理解が必要

2 UVSOR の若手があまり外部に行く機会が少なく、視点が固定化される。国内、海外の他の大学とのつながりが欲しい。

3 お金が必要。旅費のサポートなどをお願いしたい

意見：

海外に行く場合の旅費は教員が捻出できるのではないか？

ユーザーが協力して指導委託などにより常駐学生を増やせる？

大学で放射光を宣伝する

学生の気質の変化や大学内での活動も考慮する必要がある

◎シンポジウムに関して：

○名札の文字は大きくしてほしい

○学生の問題に関連して、学生が他の学生のポスター発表を聞けるようにプログラム編成を工夫した方がよい

(3) 懇談会世話人の選挙について

任期満了に伴う世話人の選挙については今後事務の加茂さんと相談して時期や方法を定める

現在(R4-5年度)の世話人の任期

北浦: 2期目

彦坂: 2期目

伊藤: 1期目

平原: 1期目

宮町: 1期目

◎シンポジウムの学生優秀発表賞の発表があった(賞状および景品は後日)。

受賞者：小野広喜(名大) 口頭発表

「有機-無機ハイブリッド界面磁気結合に及ぼす分子間相互作用の影響の評価」

大西裕輝(広大) ポスター発表

「角度分解光電子分光および逆光電子分光により検証する銅酸化物高温超伝導体の量子電荷揺らぎによる電子自己エネルギーへの影響」